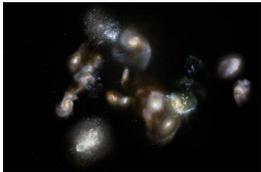


講座名	宇宙の「未発見」に挑む	
講師名	大石 雅寿(国立天文台准教授) 橋本 拓也(日本学術振興会特別研究員) 長谷川 雅也(高エネルギー加速器研究機構研究機関講師) 郡 和範(高エネルギー加速器研究機構・総合研究大学院大学准教授) 本間 希樹(国立天文台教授) 堀 安範(自然科学研究機構アストロバイオロジーセンター特任助教)	
講座案内	<p>宇宙には、まだまだ数多くの謎が残されています。しかし研究者たちは、最先端の観測と理論研究を駆使して、得体のしれないダークマターやブラックホール、宇宙誕生直後のインフレーションの正体に挑み、宇宙最初の銀河の姿をとらえようと奮闘し、また地球に似た惑星や生命材料物質の探索に力を注いでいます。今期の講座では、こうした「未発見」に挑む天文学の姿をご紹介します。<監修:国立天文台助教・平松正顕・記></p> <p>4/6 宇宙アミノ酸の発見に挑む 国立天文台准教授 大石 雅寿</p> <p>4/20 132.8億光年かなたの銀河で酸素を発見 日本学術振興会 特別研究員 橋本 拓也</p> <p>5/18 宇宙最古の光で探るインフレーション宇宙の重力波 高エネルギー加速器研究機構研究機関講師 長谷川 雅也</p> <p>6/1 ダークマターの研究の最前線 高エネルギー加速器研究機構 准教授 郡 和範</p> <p>6/15 電波望遠鏡で狙う巨大ブラックホールの直接撮像 国立天文台教授 本間 希樹</p> <p>6/29 太陽系の外に第2の地球を探す アストロバイオロジーセンター 特任助教 堀 安範</p>	
日程	2019/4/6, 4/20, 5/18, 6/1, 6/15, 6/29	
曜日・時間	土曜 13:00～15:00	
回数	6回	
受講料 (税込)	会員 17,496円	

講師詳細

大石 雅寿(オオイシ マサトシ)

1958年青森県八戸市生まれ。青森県立八戸高校卒業。京都大学理学部、東京大学大学院理学系研究科天文学専攻を修了。理学博士。国立天文台にて現職。専門は、電波天文学、アストロバイオロジー、データベース天文学。大学院時代から国立天文台野辺山にある45m電波望遠鏡などを用いて宇宙空間の分子を多数発見。アストロバイオロジーという言葉が発明された頃から、大学院時代から心に秘めていた宇宙アミノ酸の本格的探査に乗り出す。国際天文学連合アストロバイオロジー委員会の presidentを始め、多数の国際役職を務める。

橋本 拓也(ハシモト タクヤ)

1988年埼玉県さいたま市生まれ。栃木県立宇都宮高校卒業。東北大学理学部、東京大学大学院理学系研究科天文学専攻を終了。2015年 理学博士。フランス リヨン天文台、大阪産業大学および国立天文台を経て2019年より現職。専門は、光赤外天文学、電波天文学、銀河天文学。2016年、南米チリにある超大型望遠鏡 (VLT) に取り付けられた MUSE という装置を用いて、史上最も感度の高い可視分光データの構築に貢献。2018年、南米チリにあるアルマ望遠鏡を用いて、正確な距離の分かっている天体として最も遠い132.8億光年かなたの銀河で酸素を発見。現在も宇宙の果てにある太古の銀河を精力的に観測中。

長谷川 雅也(ハセガワ マサヤ)

1978年生まれ。東北大学理学部卒。京都大学大学院理学研究科博士課程修了。理学博士。高エネルギー加速器研究機構研究員・助教を経て、2017年より同機構研究機関講師。専門は宇宙物理学。現在は、チリ・アタカマ高地にあるPOLARBEAR(ポーラーベア)望遠鏡を用いて宇宙マイクロ波背景放射の偏光成分の精密測定を行い、宇宙のはじまりについて研究を行っている。

郡 和範(コオリ カズノリ)

1970年兵庫県生まれ。現在、高エネルギー加速器研究機構理論センター准教授。2000年、東京大学大学院理学系研究科物理学専攻博士課程修了。2004年、米ハーバード大学博士研究員。2006年、英ランカスター大学 研究助手、2009年、東北大学大学院助教などを経て、現職。研究内容は、宇宙論・宇宙物理学の理論研究（キーワード：ビッグバン元素合成、バリオン数生成、インフレーション宇宙論、ダークマター、ダークエネルギー、ニュートリノ宇宙物理学、原始ブラックホール、重力波など）。著書に『宇宙物理学（KEK物理学シリーズ3）』（共立出版）、『宇宙はどのような時空でできているのか』（ベレ出版）などがある。

本間 希樹(ホンマ マレキ)

1971年米国テキサス州生まれ。東京大学理学部天文学科卒業後、同大学大学院理学系研究科天文学専攻博士課程修了。理学博士。国立天文台助手、同准教授等を経て、現在、国立天文台水沢VLBI観測所所長・教授。主な研究分野は銀河系天文学。超長基線電波干渉計 (VLBI) を用いて銀河系の3次元構造を研究するVERAプロジェクトや、銀河中心の巨大ブラックホールを事象の地平線スケールまで分解するEHTプロジェクト (サブミリ波VLBI) などを推進している。著書に『巨大ブラックホールの謎』（講談社ブルーバックス）など。

堀 安範(ホリ ヤスノリ)

1981年、大阪府生まれ。東京工業大学大学院理工学研究科修了。博士（理学）。国立天文台 理論研究部、カリフォルニア大学サンタクルーズ校天文・宇宙物理学専攻で研究員

を経て、現在、自然科学研究機構アストロバイオロジーセンター 特任助教（国立天文台太陽系外惑星プロジェクト室併任）。惑星の形成と進化、惑星大気に関する理論研究に取り組むとともに、ハワイのすばる望遠鏡などを用いた太陽系外惑星の探査や大気の観測にも携わっている。